

平成 22 年度 関東支部運営委員会 (第 5 回) 議事録

- ・ 日 時：平成 23 年 2 月 1 日 (火) 14 : 00 ~ 18 : 00
- ・ 場 所：J G S 会館会議室
- ・ 出席者：太田, 田矢, 赤木, 小椋, 菊池, 佐藤, 高橋, 清水, 重村, 伊藤, 松島,
清木 (西村代理), 若井, 橘, 沓澤, 吉嶺, 末岡, 青木(事務局)
- ・ 欠席者：石原, 金尾, 瀬古, 東畑, 岸田, 後藤, 玉手, 國生, 荏本, 王

1. 前回議事録等の確認

- 第 4 回運営委員会議事録 【別紙 - 1】
- 第 1 回評議員会議事録 【別紙 - 2】
- 臨時支部総会議事録 【別紙 - 3】

2. 来期の体制

- 任期満了支部役員
- 関東支部支部長公募について 【別紙 - 4】

- ・ 役員は 3 年を任期としたので, 太田支部長, 田矢副支部長, 小椋副支部長, 瀬古支部監事が退任となる。
- ・ 國生剛治先生 (中央大学) から支部長への立候補があった。
- ・ 支部長候補を決めるのは評議員会なので, 来期以降は, 公募ではなく, 推薦依頼と表現する。
- ・ 田矢副支部長 → 後任は, 次期関東地質調査業協会支部長としたいが, 支部総会までは決まらない。事前に推薦できるようであれば推薦し, そうでなければ途中交代とする。
- ・ 評議員については, 評議員会の案内とともに, 留任のお願いを送付予定。都合が悪くなければ継続, そうでなければ後任をご推薦いただく。大学教員については, 継続を前提 (退任する場合は, 後任は推薦いただかない)。評議員を出していただいていない機関 (特に大企業) があるため, 推薦依頼 (4 ~ 5 名程度を想定。副幹事長が整理)。
- ・ 幹事については, グループごとに後任をご推薦いただきたい。

3. 関連行事予定

< 終了 >

- 第 1 回評議員会：平成 22 年 11 月 19 日 (金)
- 臨時支部総会：平成 22 年 11 月 19 日 (金)
- 本部臨時総会：平成 23 年 1 月 14 日 (金)

< 予定 >

- 第 5 回運営委員会：平成 23 年 2 月 1 日 (火) 14:00 ~
- 第 2 回評議員会：平成 23 年 2 月 21 日 (月) 16:00 ~ (+特別講演会, 懇親会)
 - ・ 特別講演会は, 元支部長の石原先生に依頼し, ご快諾いただいた。
「羽田空港拡張工事を完成させる際に用いられた新技術とその大規模工事への適用(仮題)」
- 第 6 回運営委員会：平成 23 年 3 月 日 ()
- 平成 23 年度支部総会：平成 23 年 4 月 日 () (+特別講演会, 懇親会)
 - ・ 前評議員会で講演をお願いしていた, 江戸川区土木部長 土屋信行様に講演をお願いしたいと考えている。

4. 本部からの連絡・検討依頼事項

- (1) 地盤工学会貢献賞・名誉会員の推薦について 【別紙 - 5】
 - ・ 支部からの推薦者 (貢献賞 4 名, 名誉会員 1 名) について報告があった。
- (2) 地盤工学会誌の支部特集号の希望について 【別紙 - 6】
 - ・ 平成 25 年度に予約をした。支部 10 周年にあわせて。

- (3) 公益法人化記念デジタルパンフレット入り USB メモリ配布について 【別紙－7】
- ・ 190個希望したところ、52個本部から来た。評議員に送付予定。
 - ・ 若干数生じる余分については、支部長、幹事長に扱いを一任する。

5. 支部からの周知・連絡事項

- (1) Geo-KANTO2010 開催報告 (H22.11.4～5, 支部主催 (支部発表会 G)) 【別紙－8】
- ・ 参加者198名, 報告件数131件。
- (2) 第2回若手会員交流会 (H22.11.4, 支部主催 (企画総務 G)) 【別紙－9】
- ・ 参加者57名。アンケート結果を反映し, 今後も継続。
- (3) 平成22年度神奈川県地盤工学セミナー (H22.11.12, 支部主催 (神奈川県 G), ニュースレター参照)
- ・ 参加者50余名。
- (4) 出前講座「福井県立藤島高校」(H22.11.26, 支部主催 (企画総務 G)。講師: 東畑先生)
- (5) "彩の国"市民科学オープンフォーラムー激甚化する気象災害に備えるー
(H.22.11.29, 主催: 埼玉大学地圏科学研究センター。共催)
- ・ 参加者150名のうち, 15名は関東支部MLを見て。
- (6) 森林総合研究所見学会 (H22.12.01, 支部主催 (茨城県 G)) 【別紙－17】
- ・ 参加者14名。
- (7) 第2回メタンハイドレート総合シンポジウム
(H22.12.02, 主催: 産総研メタンハイドレート研究センター。協賛)
- (8) 第5回学校対抗ソイルストラクチャーコンテスト (H22.12.11, 支部主催 (会員サービス G)) 【別紙－10】
- ・ 6チーム参加。日刊建設新聞に紹介記事が掲載された。
- (9) 書籍「関東の地盤」及び地盤情報データベースに関する講習会
(H22.12.17, 支部主催 (関東地盤 DB 委員会+会員サービス G)) 【別紙－11】
- ・ 参加者30名。
- (10) 千葉県グループ「技術講習会」
(H22.12.22, 主催: 千葉県建設技術協会。共催 (千葉県 G), 千葉県 G 報告参照) 【別紙－12】
- ・ 参加者220名。地盤工学会からは25名。
- (11) 国際講演会「地盤技術における法工学の基本と事例」
(H22.12.22, 支部主催 (企画総務 G)・中央大学理工学部共催) 【別紙－13】
- ・ 参加者14名。
- (12) Newsletter No.22 発行について (H22.12.22, 企画総務 G)
- (13) 書籍「関東の地盤」の地盤情報データベースに関する勉強会
(H23.01.27, 支部主催 (栃木県 G), 栃木県 G 報告参照) 【別紙－18】
- ・ 参加者20名。
- (14) 廃石膏ボードの再資源化と地盤改良への適用に関する講演会
(H23.02.04, 主催: 北関東産官学研究会。協賛) 【別紙－14】
- (15) 東毛広域幹線道路東武鉄道跨線橋工事現場見学会
(H23.2.23, 支部主催 (群馬県 G)) 【別紙－15】

6. グループ別の報告事項

- (1) 会員サービス G 【別紙－16】
- ・ 実施できたのは, 関東の地盤情報DBの講習会と, ソイルストラクチャーコンテスト。
 - ・ 上記のもの以外の予定していた事業は未実施。来年度に実施予定。
→無理して多くの行事をする必要はない。そうでなくても東京での行事が多いので。

→都内の自治体との行事共催や、土の談話会（60 over のシニアな方々の集まり）との連携などとしてもよい（後者の詳細は末岡さん）。

- ・ ソイルタワーコンテストは、参加者の技術が向上してきたため、対象を幅広くするためソイルストラクチャーコンテストとした。今年はソイルブリッジコンテストを実施した。
- ・ 来年度の体制については、現在継続意思確認中で、今年4年目の方は退任予定。

(2) 茨城県 G 【別紙-17】

- ・ 森林総合研究所の見学会を実施。例年に比べて参加者が少なかった（14名）。来年度も研究所見学会を実施予定。
- ・ 高校生向け小冊子については、一部修正が終わっていないものがあるが、今年度中に完成させたい。

(3) 栃木県 G 【別紙-18】

- ・ 来年度は講習会、見学会、勉強会を実施予定。来年度は、参加費をとるようにしたい。
- ・ 栃木県地質調査業協会の40周年記念講演会を後援。

(4) 群馬県 G 【別紙-19】

- ・ 今年度は2回現場見学会を実施（1回は2/23に予定。別紙-15参照。）
- ・ 財団法人（県の建設技術センター？）の2日間の講習会等を地盤工学会関東支部に委託業務として発注することは可能か（現在でも、実質的にコーディネートはしているが）、という問い合わせが来ている。
→後援・共催等でよいのではないか。
→栃木県Gは共催費という形でお金をもらっているが、会計上問題あり。

(5) 山梨県 G

(6) 千葉県 G 【別紙-20】

- ・ 県と共催で講演会を実施した（12/22）。
- ・ 来年度の予定は2月中旬の幹事会で決定予定。

(7) 埼玉県 G 【別紙-21】

- ・ 支部発表会を実施。市民科学フォーラムを後援。
- ・ 来年度は、見学会、講演会・講習会を実施予定。

(8) 神奈川県 G 【別途添付】

- ・ 「大いなる神奈川の地盤」のバナー広告を（社）神奈川県都市整備技術センターのかながわ地質情報マップに載せたい。制作費は無料で、広告費は1年で37,800円。
→補助金も頂いているし、これまでの経緯を踏まえて、了承。
→支部HPへのリンクではなく、直接「大いなる神奈川の地盤」にリンクするのがよい。

(9) 研究委員会 G 【別途添付】

- ・ 各研究委員会の活動報告。今年度終了する委員会について継続したい（地盤情報DB→活用に主眼をおいた新委員会として3年間、リスクマネジメント→成果普及活動委員会として1～2年間）。
→前者は、「研究」委員会の枠を超えおり、常設委員会（DBの管理）にするということも考えられるが、情報が増えなくなってくれば、負の遺産となる可能性も（売れなくなる）。
→赤本のように、更新時だけ活動するという事も考えられる。
→モデルを構築する、ということに主眼をおく（研究を中心に据える）ということで承認。後者も承認。
→こういう議論を採算も踏まえて検討し、事業を実施するか否かを判断する部署（本部の事業部相当）があったほうが良い。
- ・ 来年度新規研究会公募については2件応募があり、1件採択、1件不採択。→承認
- ・ 廃石膏ボードの委員会は、関東外委員の旅費がかかるため、多めに予算配分。→承認

- ・ 成果普及の場として、本部講習会を希望しているところがあり、今後も同様の希望があると思われる。誰が調整すればよいか。
→とりあえず、伊藤リーダー幹事経由で。その後は、支部派遣の委員を通して。
→支部主催・本部共催のような形もある。
- ・ 「関東の地盤」をオンデマンド化したい。印刷にかかる費用は、一時的に支部予備費を使いたい。
→承認（ただし、「研究委員会成果の広報活動費」を充てる）

(10) 支部発表会 G

【別紙-22】

- ・ 来年度は、従来規模で支部発表会を実施したい。→承認
- ・ 平成24年度には規模拡大して実施したいので、どうやったら実施できるのか、考えていただきたい。なるべく負担が少なく、多くの人が集まれるものに（懇親会）。
→人を集めるのが難しい。一気に増やすのは無理がある。
→本来なら、発表会を魅力的なものにするのが先では。結果として規模が大きくなるのであれば、その時組織を変えることを考えればよい。
- ・ 来年度は、土日で山梨大、交通の便の悪い西東京などが開催地候補としてある。
→土日は、大学以外は参加しづらい。もう少し探して、後ほど意見照会（メールで）。

(11) 企画総務 G

【別紙-23】

7. 今期予算の執行状況

【別紙-24】

- ・ 順調な執行状況である（昨年度と比べても）。

8. 次年度予算について

【別紙-25】

- ・ 栃木県Gの予算が茨城県Gのところに入っている。（→指摘に基づき修正）
- ・ 研究委員会成果の広報活動、支部研究発表会については増額をする可能性があるが、そのような軽微な修正を除き、承認。

9. その他

(1) 退会特別会員

(株)ドリコ (4級) H22.11月末 組織変更部署統廃合のため
 関東学院大学 工学部 社会環境システム学科 地盤防災工学研究室 (4級) H23.3月末

(2) 次回運営委員会などの開催日

運営委員会：3月23日（水）14～17時
 支部総会：4月26日（火）16時～